

七尾市

北陸地方整備局

新潟港湾・空港整備事務所

金沢港湾・空港整備事務所

七尾海上保安部

記者発表

令和元年9月24日(火)

取り扱い：配付を以て解禁

七尾港で初、緊急支援物資輸送等訓練を実施

●七尾市では9月28日(土)に、北陸地方整備局及び関係機関・団体の協力の下、「津波防災の日」「世界津波の日」※¹の訓練として、七尾港で初の緊急支援物資輸送等訓練となる「大型浚渫兼油回収船「白山」入港に伴う七尾港防災訓練※²」を実施します。

訓練では、国土交通省所属の大型浚渫兼油回収船「白山」、七尾海上保安部所属の巡視艇「はまゆき」等を活用して、緊急支援物資輸送等訓練、海上での油回収訓練及び漂流者救助訓練等を行います。

●また、9月29日(日)には、大型浚渫兼油回収船「白山」、巡視艇「はまゆき」の船舶一般公開を開催します。

今回の訓練により、七尾市と北陸地方整備局、七尾海上保安部及び関係機関・団体の相互協力体制を確立するとともに、防災の重要性を再認識し、七尾市を中心とする地域防災力の強化を図ります。

※¹：11月5日が「津波防災の日」「世界津波の日」として制定されている。

※²：「大型浚渫兼油回収船「白山」入港に伴う七尾港防災訓練」

主催：七尾市

参加：北陸地方整備局、七尾海上保安部、石川県七尾港湾事務所、七尾鹿島消防本部、七尾警察署、一般社団法人日本埋立浚渫協会北陸支部、石川県港湾漁港建設協会、能登水難救済会、能登沿岸排出油等防除協議会

【訓練会場、船舶一般公開 場所：七尾港矢田新第一埠頭】（別紙－1参照）

【訓練日程】（別紙－2参照）

9月28日(土)

10:00～10:20 開会式

10:20～10:25 訓練概要説明

10:25～11:55 訓練

訓練内容

- ① 緊急支援物資輸送等訓練
- ② 傷病者輸送訓練
- ③ 救命処置訓練
- ④ 油防除訓練
- ⑤ 漂流者救助訓練
- ⑥ 油回収訓練

11:55～12:00 閉会式

※荒天等により、内容変更や中止になる場合があります。

※取材をされる方は、9:30迄に受付をお願いします。

※駐車場は埠頭内の無料駐車場がご利用できます。

※一般の方も見学できます。

【船舶一般公開】（別紙－ 1. 3 参照）

9月29日（日）10:00～12:00、13:00～15:00

※見学は無料で、申し込みも不要です。

※駐車場は埠頭内の無料駐車場がご利用できます。

※「白山」は作業船のため乗降タラップや船内階段が急勾配です。サンダル・ハイヒールはご遠慮頂き、スニーカー等の動きやすい靴でお越し願います。

※荒天等により、内容変更や中止になる場合があります。

同時発表記者クラブ
石川県政記者クラブ
専門紙

【問い合わせ先】

訓練関連：七尾市 総務部 総務課 防災対策室
TEL 0767-53-6880 西川・小林

船舶一般公開：七尾港整備・振興促進協議会（七尾商工会議所内）
TEL 0767-54-8888 大星

七尾港



「大型浚渫兼油回収船「白山」入港に伴う七尾港防災訓練」



⑥油回収訓練



①緊急支援物資輸送等訓練
③救命処置訓練



④油防除訓練
⑤漂流者救助訓練

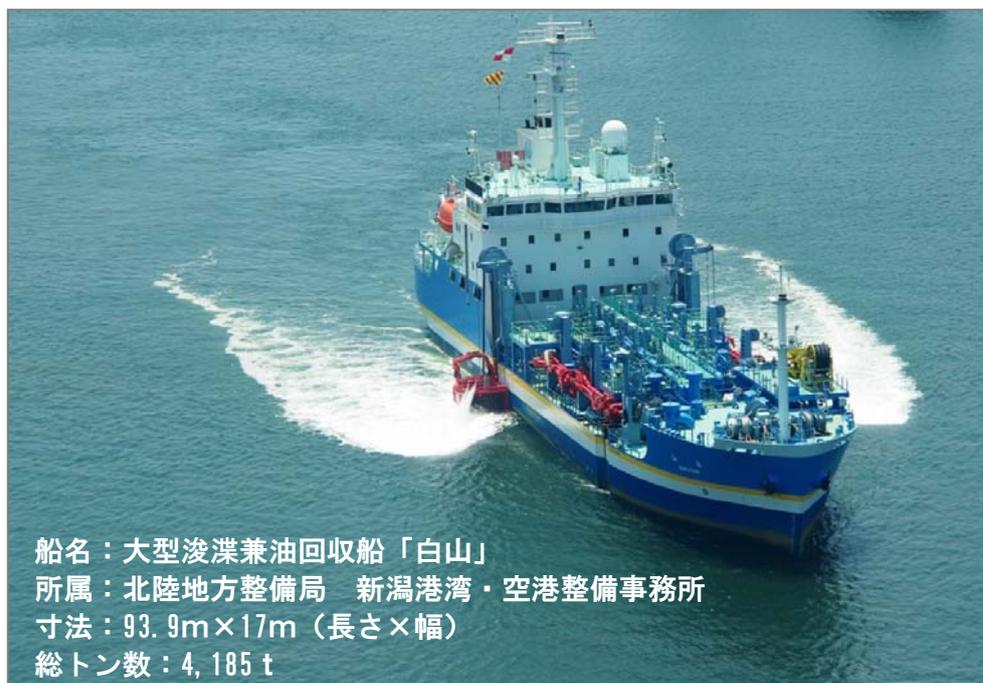
②傷病者輸送訓練



七尾港開港120周年記念

船舶一般公開 第2弾!!

しゅんせつ
大型浚渫兼油回収船「白山」・巡視艇「はまゆき」



船名：大型浚渫兼油回収船「白山」
所属：北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所
寸法：93.9m×17m（長さ×幅）
総トン数：4,185 t

9月
/
29日(日)

場所：七尾港矢田新第一埠頭

(公開時間)

午前の部：10:00～12:00

※最終受付 11:30

午後の部：13:00～15:00

※最終受付 14:30

大型浚渫兼油回収船「白山」

北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所所有の船舶で、港の機能を守る浚渫と、海の環境を守る油回収の二つの機能を兼ね備えた船です。

七尾港へは初めての入港となります。

(「白山」については裏面で詳しく紹介)

巡視艇「はまゆき」

七尾海上保安部所属の巡視艇で今年1月に就役したばかりの新造船です。

最新鋭の装備を備えており、主に海難救助・海上犯罪取り締まりなどの警備救難業務や航路しよう戒にあっています。

船名：巡視艇「はまゆき」

所属：第九管区海上保安本部 七尾海上保安部

寸法：32m×6.5m（長さ×幅）

総トン数：100 t



【注意事項】

※見学は無料で、申し込みも不要です

※駐車場は埠頭内の無料駐車場がご利用できます

※船内は急こう配や段差が多いため、サンダル、かかとの高い靴等での乗船はご遠慮ください

※天候等の都合により、内容変更や中止になる場合がありますので、予めご了承願います

問 七尾港整備・振興促進協議会（七尾商工会議所内）

Tel0767-54-8888

裏面で、「白山」を詳しく説明しています

「白山」の概要

○「白山」は、港の機能を守るための浚渫※を行うほか、平成9年のナホトカ号油流出事故のような大型タンカーなどから流出した大量の油などを海上で回収する機能を有しており、国土交通省が所有する3船のうち北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所に所属している船舶です。

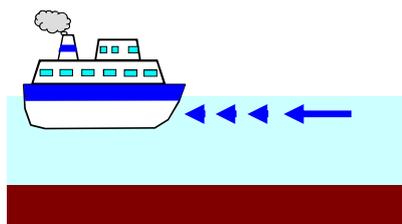
○「白山」は2011東日本大震災や2016熊本地震において、緊急支援物資輸送等の支援を行い、さらに昨年発生した北海道胆振東部地震においては、緊急支援物資輸送のほか、入浴、洗濯、給水の支援や燃料提供を行いました。

(※浚渫とは、船が通る航路の水深が浅い所は海底と船底がぶつかる危険があるため、船が安全に航行できるように海や川の底にたまった土砂を掘って、航路の水深を確保する作業のことです。)

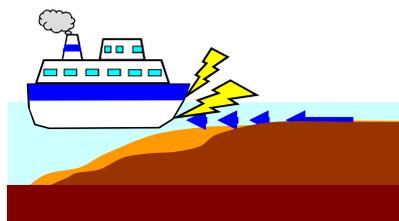
2つの使命を持つ船！「白山」

港の機能を守るための浚渫(土砂を取り去る作業)

新潟西港は信濃川の河口に位置しているため大量の土砂が流れ込みます。これを放置しておくと、大型船の航行が困難になるため、24時間体制で浚渫作業に従事しています。



① しっかりと水深が確保されていれば安全な航行が可能



② 土砂が堆積することで安全な航行が出来なくなる



③ 白山は船舶航行の安全を確保するため24時間体制で、堆積した土砂を浚渫しています

海の環境を守るための油回収

1997年(平成9年)のナホトカ号の油流出事故では、日本海側の各地で周辺環境や海洋水産資源に大きな被害が発生しました。この事故を教訓に、日本海域の環境を守るため油回収装置を装備し油回収作業に従事します。



取り込んだ油と水はサイクロン室で遠心分離され、給水ポンプで油分だけが船内の回収油水槽へ送られます。



平成9年に福井港沖で発生したナホトカ号油流出事故で、三国町の海岸に漂着した油を人力で回収している様子。

3船体制での油回収エリア

名古屋港の「清瀧丸」、北九州港の「海翔丸」、新潟港の「白山」の3船で日本近海の油流出事故に備えています。「白山」は日本海近海を24時間以内で出動が可能で、北海道周辺海域でも48時間以内に回収作業を行うことができます。